

(仮称)コミュニティふらっと本天沼の整備に関する第2回説明会(令和5年3月21日開催) 主な意見・質問と回答

1. (仮称)コミュニティふらっと本天沼について

①説明会での質疑応答

No.	意見	回答
1	3施設を1施設に統合する計画は変えられないとのことだが、まだ議会で議決されていないため、計画を変更する余地はあるのではないか。	天沼・本天沼地域に係る施設再編整備の取組については、旧若杉小学校北校舎の民設保育所を天沼保育園・ゆうゆう天沼館の用地に移転・改築する取組や令和8年11月に開設を予定する児童相談所の整備に影響が生じるため、白紙に戻すことは困難ですが、地域や既存施設利用者の方々との対話を継続していきます。そのため、再編の対象となっている区民集会所やゆうゆう館の施設廃止等条例案については、当初予定していた第1回区議会定例会ではなく、第2回区議会定例会での提案とし、皆様の新たな活動場所となる(仮称)コミュニティふらっと本天沼の運営に関する地域懇談会を設置するなど、今後も地域や既存施設利用者の方々との対話を継続して、より良い施設づくり・運営につなげていきます。
2	子どもも高齢者もどちらも大切にして、みんなが使える施設を作ってほしい。コミュニティふらっとのラウンジは、子どもの遊び場としても活用できる。	区では基本構想に掲げたまちの将来像「みどり豊かな住まいのみやこ」の実現に向け、年齢や障害の有無等にかかわらず、人と人が支えあい、つながりあえる地域社会づくりを進めています。「コミュニティふらっと」は、こうした考えに基づき、子どもから高齢者まで、誰もが身近な地域で気軽に利用でき、世代を超えた交流を促進するための地域コミュニティ施設として整備・運営しているものです。ラウンジの活用方法については、機能継承する施設の利用者や地域団体の方から構成される(仮称)コミュニティふらっと本天沼の運営に関する地域懇談会などを通して、地域や既存施設利用者の方々からの意見も踏まえ検討してまいります。
3	演劇・合唱の利用ができるようになったが、多目的室が67㎡では狭くて稽古場にならない上に、壁が防音になっているようには見えない。	(仮称)コミュニティふらっと本天沼の多目的室については、部屋の窓の二重サッシ化及び部屋の扉の防音化を図り、合唱や演劇など多様な活動に利用できる環境を整えるとともに、近隣の騒音は40db未満(都条例に基づく住宅地における基準値以下)に抑える考えです。また、多目的室の面積は約67.71㎡で定員は40名となる予定です。これ以上の面積・定員でのご利用については、近隣の地域区民センター等をご利用ください。
4	3施設を統合するには、本天沼区民集会所の面積では足りない。今後の活動がどうなってしまうかが不安である。	(仮称)コミュニティふらっと本天沼では、集約する既存施設の利用状況などを踏まえて、増築を含めた施設の改修により、それぞれの施設の機能を受け止めていく考えです。これに加えて、消費者センター教室等の目的外使用を開始することで、ウェルファーム杉並の集会機能を補完していきます。 (仮称)コミュニティふらっと本天沼に機能継承する本天沼区民集会所、天沼区民集会所、ゆうゆう天沼館の3施設分の利用受入れについては、令和4年11月の利用状況を基にシミュレーションを実施しました。月の全体枠数672枠に対して、3施設を合わせた利用枠は336枠で、このうち、週半ばの午後や夜間の時間帯を中心に、部屋・時間帯の重複が発生するのは37枠でした。この37枠については、部屋や時間帯・曜日の移動といった調整により、活動を継続いただける見込みです。そのため、全体の利用できる枠としては、必要な数を確保できることを確認しています。
5	コミュニティふらっと本天沼の駐輪所を広くしてほしい。	駐輪場については、現在18台の駐輪が可能ですが、施設の増築・改修に合わせて、入口横の北西部分のスペースに8台分のスペースを新たに確保し、合計26台の駐輪が可能となります。

6	コミュニティふらっと本天沼の地域懇談会は公開で実施し、委員以外の意見も汲み取れるようにしてほしい。また、本天沼区民集会所の職員も参加できるようにしてほしい。	(仮称)コミュニティふらっと本天沼の運営に関する地域懇談会は公開で実施します。また、本天沼区民集会所の職員についても、施設運営の観点から意見をいただく際など、必要に応じて参加をいただく予定です。
7	コミュニティふらっと本天沼の懇談会でも様々な意見が出ると思うが、「もう決まったこと」という言葉は聞きたくない。	(仮称)コミュニティふらっと本天沼の運営に関する利用者懇談会では、利用者や地域住民の視点から意見を伺い、可能な限り反映を図ることで、区民とともに、より地域に愛される施設づくりにつなげていく考えです。
8	令和4年11月の利用率はコロナ禍の利用率であるため、参考にならない。	前回の説明会の中で、コロナ禍の影響がなかった令和元年度の利用率を基にご説明をしたところ「直近の利用状況でシミュレーションした結果を示してほしい」とのご意見を頂いたため、今回の説明会では、令和4年11月の利用状況を基にご説明をさせていただきました。 なお、令和4年11月時点の利用状況は、コロナ禍前の状況と比べ、大きな差はありません。
9	午後の利用枠を、ゆうゆう館と同じ4時間にしてほしい。	ゆうゆう館では午後の時間帯の利用枠は「1～5時」の1枠のみとなりますが、コミュニティふらっとをはじめとした集会所施設では、利用機会の拡大及び施設の有効活用、並びに利用者の負担軽減を図る観点から、午後①「1～3時」と午後②「4～6時」の2枠を設定しています。午後の利用について、2時間45分以上の活動をされたい場合は、連続した枠での予約をお願いします。
10	施設の利用について運営事業者と相談すると、十分に検討されずやすぐ断られる。もっと前向きな検討をしてもらえるようにしてほしい。	利用者から施設への相談については、適宜、区と運営事業者で情報を共有した上で、可能な限り利用者の視点に立って対応を検討するよう徹底してまいります。
11	枠の移動が必要な割合は11%だから問題ない、とするのではなく、今ある施設をより多くの人に使ってもらえるようにする必要があります。	(仮称)コミュニティふらっと本天沼では、集約する既存施設の利用状況などを踏まえて、増築を含めた施設の改修により、それぞれの施設の機能を受け止めていく考えです。これに加えて、消費者センター教室等の目的外利用を開始することで、この地域における集会機能を補完していきます。 今回は以上の考えに基づいた上でシミュレーションを実施しておりますが、ご指摘いただいた施設の利用率向上については、別途、検討してまいります。
12	1階のラウンジで囲碁・将棋をできるようにしてもらいたい。	(仮称)コミュニティふらっと本天沼のラウンジでは、勉強やちょっとしたおしゃべりなど様々な用途で利用いただく想定であるため、特定の利用者に対して、施設の備品を貸し出すことは適当でないと考えます。 そのため、囲碁・将棋盤等の備品については、集会所での貸出備品という扱いとし、ラウンジ利用時の貸出は行いません。備品の貸出をご希望の場合は、集会所等のお部屋をご予約ください。 なお、集会所の予約に当たっては、高齢者団体の要件を満たしている場合、高齢者団体としてご登録いただけますと、高齢者団体優先枠での利用の場合は、1団体につき月に8枠（一体使用の場合は2枠という扱い）までは使用料免除となります。
13	桜の木を切らないでください。	増築部分に係る南西の桜の木については、樹木診断の結果、著しい被害が見られるとの判定であるため、伐採の上、増築を行うものですが、その代替として、南西部分に桜の木を新植する考えです。

②説明会で配布した、ご意見用紙に寄せられた意見等

No.	意見	関連する 回答No.
1	ゆうゆうと本天沼集会所を同時に建て替えることに反対。本天沼は継続して使えるようにしてほしい。たたみも新しくなったことだし。	1-①-1
2	ゆうゆう館と本天沼集会所を同時に建て替えることに反対します。もっと長くこの会を続けるためには地理的条件が大事です。たたみも新しくなったことだし、もう少し長く継続利用したいです。	1-①-1
3	ゆうゆうと本天沼集会所を同時に建て替えることに反対です。	1-①-1
4	<p>○これ迄、専門家による指導で趣味の会を定期的に行って来ました。現状が変更されると日時の調整等が困難で、活動が出来なくなります。</p> <p>○また、1階のスペースでは、囲碁同好者が気の向いた時に集まり楽しんで来ました。部屋を予約する制度になると、老後の随時の楽しみが失われます。</p> <p>○そもそも、きれいに使われて来た本天沼区民集会所に手を入れても僅かな面積しか増加しないのに、莫大な資金を注ぎ込むのは、区の財政として問題です。</p> <p>○おまけに桜の大樹を伐採するとなると環境面でもマイナスです。</p> <p>○特に、財政面での問題は愚策として看過できません！！</p> <p>○私が参加しているグループは高齢者ばかりで、中には90才半ばを過ぎ車椅子で支援されている方もおられます。</p> <p>○現在より遠くなると、みんな参加が困難で引きこもりや寝たきりになることが心配されます。そうになるとゆうゆう館の趣旨が失われます。</p> <p>○もし、天沼館で修理した方がよい箇所があれば、短期間、低費用で済む筈です。</p> <p>「ゆうゆう天沼館」が存続することを切望します。</p>	<p>1-①-1</p> <p>1-①-12</p> <p>1-①-13</p>
5	<p>たてかえるのにタタミの交換？！</p> <p>せっかく交換した新しいタタミを継続して使わせてほしいです。新しい施設で一般利用の枠が狭くなるのは、高齢者優先すぎではないのでしょうか。</p> <p>桜の大木を残してほしいです。</p>	<p>1-①-1</p> <p>1-①-13</p>
6	<p>今回もまた、「コミュニティふらっと」の意義が分からなくなった。</p> <p>「子どもから高齢者まで」とあるが、身近でない、スペースがせまい、気軽に立ち寄れない。外のスペースが全くなく（庭など）子供の遊び場とはいえない。</p> <p>コミュニティふらっと天沼になったら、自転車置き場は何台を想定しているのか？外での遊び場は考えているのか？</p> <p>2と3、3と5で広げる（パーティションなどで）ことはできるのか？</p> <p>区から出されるものは元号と西暦の併記をお願いしたい。</p> <p>「コミュニティふらっと天沼」ありきで、そこに合わせて様々なものを玉突きにしているカンジがする。</p> <p>保育室を必ずつくってから、こういう説明会をして下さい。</p>	<p>1-①-2</p> <p>1-①-5</p> <p>4-①-1</p>

7	<p>出生率は下がりつづけ、高齢者は増え続ける中、世代間の分断が懸念される。 「コミュニティふらっと」が本当に世代を超えた交流を促進するための施設となるのか。説明会に参加してそのイメージが全くわかなかった。 中央図書館は、改築して利用者が格段と増えているように思う。つくりも開放的で居心地がよい。このような場所で若者から高齢者まで過ごせたら理想的。（フェニックス杉並は失敗例。有効活用を望む） 健康長寿でいきいき暮らす高齢者の姿は、若者にも新生児と同じくらい幸福な未来を思わせるのではないか。世代間のバランスをとることは難しいが、幸福の循環を新たな場づくりからぜひ実現して欲しい。</p>	1-①-2
8	<ul style="list-style-type: none"> • R4.11月の利用状況のシュミレーションがあったが、コロナで利用者が少ない状況でのシュミレーションを行っても説得力がないです。1か月でなく6か月単位でシュミレーションを行うべき。 • 利用目的、利用者も異なる3施設を1つにまとめること自体に無理がある。 • 3施設を一番せまい本天沼区民集会所にもってくることに無理がある。（大きさだけなら荻窪地域区民センターの方が広い） • 集会所、ゆうゆう館で働く方々の雇用は守るべき。民間委託事業者まかせにするのは区の責任のがれと思う。（そもそもの計画が区の一方向的な都合） • 保育所の移転・児童相談所の移転ありきで計画が決定されていると感じた。本計画は一旦中止すべき。 	<p>1-①-4 1-①-8 2-①-2 6-①-3</p>
9	<p>これから作る懇談会については、だれでも参加できる型にしてください。公開をお願いします。</p>	1-①-6
10	<p>私達は、これまで「本天沼集会所」にて20年以上囲碁を通じて地域の同好者とコミュニケーションを図ってきました。 これからも、日本の伝統文化の一つである囲碁の普及・維持向上に努めたいと考えております。 従いまして、これまで「平日の午後2時間定度囲碁が出来るスペース」を確保していただきたく、ここに要望いたす次第であります。 よろしくお取り計らい下さるようお願い申し上げます。</p>	1-①-12
11	<p>私は「本天沼区民集会所」を囲碁で仲間と週4回も楽しんでいる者です。 高齢者で楽しみをうばわれるのが残念です。 どうかお願いします。集会所をそのまま使わせてください。 そばに桜の木もあります。すばらしい景観です。よろしく。切り倒すのはもったいない！！</p>	<p>1-①-12 1-①-13</p>

2. 現在のゆうゆう天沼館について

①説明会での質疑応答

No.	意見	回答
1	ゆうゆう天沼館を1階部分まで拡大して、単独の施設にしてほしい。	ゆうゆう天沼館については、地域の保育需要に応じて、保育園を移転・整備することとしており、ゆうゆう館の単独の施設とすることは困難です。皆様の活動場所が変わることでご不便をおかけする場合には申し訳ございませんが、ゆうゆう天沼館の機能は、(仮称)コミュニティふらっと本天沼に継承し、ゆうゆう館の利用者が引き続き活動できるように整備してまいります。
2	ゆうゆう天沼館から高齢者を追い出して、施設を民間の保育事業者に貸すという考え方が理解できない。	ゆうゆう館については、今後の更なる高齢化の進展を見据え、高齢者が地域の様々な方とのつながりを持てるような場を確保する観点などから、多世代型の施設であるコミュニティふらっとに機能継承していく考えで取組を進めてきましたが、区民の皆様から様々なご意見をいただいていることなどから、取組の検証を行い、新たな方針を決定していくこととしています。一方で、ゆうゆう天沼館の機能継承を含む、天沼・本天沼地域の再編整備の取組については、保育施設や児童相談所の整備に影響が生じるため、白紙に戻すことは困難です。皆様の活動場所が変わることでご不便をおかけする場合には申し訳ございませんが、決してゆうゆう天沼館から高齢者を追い出すという発想ではなく、施設の老朽化の状況や保育需要への対応のほか、地域共生社会への対応に向けてゆうゆう館を多世代型施設のコミュニティふらっとに移行するなどの観点から実施するものですので、ご理解いただけますようお願いいたします。
3	杉並区はバス停、駅の近くに高齢者施設がない。現場をみて、利用者とのコミュニケーションをとって、高齢者がどうすれば楽しく、幸せに毎日過ごせるか考えてほしい。	ゆうゆう館やコミュニティふらっとは、地域の方が身近な場所で生きがい活動などができる場として設置しています。この間、頂いたご意見やご要望を踏まえ、ゆうゆう館の利用状況について直接現地の確認を行ったほか、ゆうゆう館利用者へのアンケートや意見交換会を順次実施するなど、利用者のご意見を伺うよう努めております。これらの取組を踏まえ、ゆうゆう館を含めた高齢者の活動場所につきましては、現在検証を行っており、その結果を踏まえて方針を決定してまいります。

②説明会で配布した、ご意見用紙に寄せられた意見等

No.	意見	関連する回答No.
1	天沼ゆうゆう館を廃止にしないでください。 できない場合は代替りのゆうゆう館を近くに作って移行して下さい。 コミュニティふらっとの移行には反対です。 高齢者は身体はきついですが、趣味を生きがいにして頑張ってます。 高齢者に優しいシステムを考えてください。	1-①-1 2-①-2
2	天沼保育園の建物をたてなおすなら、ゆうゆう館施設も含めてたてなおしたらどうか？	2-①-1

3. 旧若杉小の跡地活用について

①説明会での質疑応答

No.	意見	回答
1	旧若杉小の問題をとりあげるのが遅い。	旧若杉小学校につきましては、この間、保育待機児童緊急対策に対応するため、保育室若杉や民設保育所を整備したほか、適応指導教室さざんかステップアップ教室菟窪教室、重症心身障害児通所施設わかばなど行政需要への対応として、暫定的に活用してきたところです。この間、本格活用を見据えて、こうした暫定活用については移転先の検討を進めてきましたが、昨年11月の説明会や計画の一部修正に伴うパブリックコメントでのご意見を踏まえて、本格活用に向けて地域の皆様の声を丁寧に伺いながら検討を進めていきます。
2	旧若杉小の躯体の状況について早急に調査し、建物の使用が可能かどうか検討してほしい。	旧若杉小学校の跡地活用に当たっては、既存校舎の築年数を踏まえて校舎等を解体しての整備を考えておりましたが、皆様からのご意見等を踏まえて、令和5年度に既存校舎の躯体の状況等をしっかり調査した上で、活用可能かどうかを判断していく考えです。
3	旧若杉小跡地の活用の検討に当たっては、懇談会ではなく、区民に開かれた協議会を設置してほしい。委員は一般公募にして、会議は一般公開してほしい。	旧若杉小学校の跡地活用を検討するに当たっては、地域の皆様からのご意見を丁寧に伺いながら進めたいと考えております。どのような進め方とするかについては、今後検討していきますので、今回頂きましたご意見はその際の参考とさせていただきます。

4	天沼小では、生徒が増えて度々改修・増築をしており。子どもが使えるスペースが限られている。旧若杉小を本格活用する際の懇談会では、「子どもたちのための活用」という視点も取りいれてほしい。	旧若杉小学校の跡地活用の内容については、今後、地域の皆様のご意見を丁寧に伺いながら検討を進めていきたいと考えております。今回頂きましたご意見は、その際の参考とさせていただきます。
5	他区では、小学校の跡地を演劇など文化活動に使えるようにしている。	
6	旧若杉小について、現在は消防法の関係で延べ床面積3,000㎡までしか使えないというのはなぜか。	旧若杉小学校の現在の消防設備は、校舎を暫定活用で使用するに当たり、小学校として使っていた頃のものから簡易型の消防設備に変更しており、この消防設備で使える範囲が3,000㎡までとなっているためです。

②説明会で配布した、ご意見用紙に寄せられた意見等

No.	意見	関連する回答No.
1	協議会にする前にもっと区民の意見を聞いてほしい。 今回の計画の問題点も洗い出してよりよい計画にしてほしい。 若杉の利用を含めればよい案が出てくるはず。 説明会を続けてください。 場当たりのではなく、全体の計画を立ててください。 オープンスペースを残せという意見だけ聞くの？保育園つくれば？ 若杉、消防施設を増やしてもっと使えばいい。	3-①-1 3-①-3

4. 区立施設再編整備計画について

①説明会での質疑応答

No.	意見	回答
1	全体像が無いままに個々の計画が進んでいると感じる。今回の計画はコミュニティふらっとありきで考えられていて、長い目でみた展望は考えられていない。	区民集会所やゆうゆう館等、地域コミュニティ施設の再編整備につきましては、施設の老朽化の状況や施設の利用状況、今後の更なる高齢化の進展を見据えた地域共生社会への対応等を踏まえて、身近な地域で多世代が交流しつなぐりを生み出す、新たな地域コミュニティ施設「コミュニティふらっと」へとゆうゆう館の機能を継承していく考えで、この間、取組を進めてきました。こうした取組については、区民の皆様から様々なご意見を頂いていることから、これまでの取組を検証し、新たな方針を決定していく考えです。
2	区立施設は区民のためのものであって、区の職員のものではない。住民自治に基づいた施設再編整備計画を進めてほしい。	区立施設再編整備計画は、限りある財源の中で工夫しながら区立施設の老朽化と区民ニーズに対応していくことを目的としていますが、具体的な取組内容については、区民の皆様から様々なご意見を頂いていることから、これまでの取組を検証し、新たな方針を決定していく考えです。将来にわたって必要な施設サービスを継続していくため、新たな方針や今後の取組を決めていく際には、区民の皆様と一緒に考えながら進めていきたいと考えています。
3	子育て世帯の人たちと高齢者など、区民間の対立を生むのは良くない。	今回の説明会では、様々な立場の方々からご意見をいただきましたが、ご指摘のとおり、区民間の対立を生むようなことは、避けなければならないことと認識しています。施設再編の取組は、それぞれの施設利用者や関係団体、地域の方など、多岐にわたる方々が関係するため、情報共有を図りながら対話を重ね、理解を深めていくことが必要であると考えています。
4	児童発達相談係を旧若杉小内、もしくは校庭プレハブを建てて、その場所に移動させればよいのではないかと。旧若杉小はもうしばらく暫定利用が続くので、その間に本格活用について検討できるのではないかと。	児童発達相談係は令和8年11月開設の区立児童相談所の整備に向けて、令和5年度末までに移転する必要がありますが、保育室若杉は令和6年度末、パピーナ荻窪天沼保育園は7年度末まで使用するほか、重症心身障害児通所施設わかばは病院の連携等の条件もあり適切な移転先が見つからない中で、バリアフリー対応が求められる児童発達相談係を既存校舎に設置することは困難であるものと考えています。また、旧若杉小学校の校庭にプレハブで施設を整備することはできますが、接道の関係で正門近くの道路のそばに建てることとなります。過去に地域の方々や学校関係者から構成される旧若杉小学校跡地活用に係る懇談会において、旧若杉小学校では防災上の観点からオープンスペースを確保する必要があるとの提言を受けており、校庭の一部に建物を建てることで支障が生じると考えています。
5	天沼区民集会所が区が使用する会議室になるとのことだが、区の職員向けの会議室は午後5時以降使われないと思うが、利用率はどの程度なのか。利用者に消費者センターを使わせるのであれば、職員が消費者センターで会議をすればよいのではないかと。区役所から離れた場所で区役所の会議を行うというのはどういうことなのか。	今回、消費者センターの教室を消費者団体以外の一般的な団体も使えるようにしますが、消費者センターの教室では、元々、ウェルファーム内の会議を中心に区の会議等での利用もあり、こうした需要を4階の天沼区民集会所の部屋の方で受け止めることで、一般の利用者が消費者センターを使いやすくするようにしたいと考えています。なお、参考までに令和2年度においては、消費者センター教室等の行政使用は1,000回以上の利用回数があります。

6	<p>天沼中学校の建て替えの計画があるとのことだが、区内には天沼中学校より古い学校がたくさんある。なぜ天沼中学校がこのタイミングで対象になるのか。</p>	<p>学校の改築については、令和2年度に策定した杉並区立学校施設整備計画において、改築する学校と長寿命化する学校とに振り分けながら取り組んでいく考えを整理しており、天沼中学校は改築する学校に振り分けられています。どの学校から改築するかについては、築年数だけではなく、施設の劣化状況や児童・生徒数の動向に加え、周辺の区立施設の再編整備の状況など、学校を取り巻く環境等を踏まえ、総合的に判断しています。</p>
---	---	---

②説明会で配布した、ご意見用紙に寄せられた意見等

No.	意見	関連する回答No.
1	<p>そもそも「コミュニティふらっと」構想自体に無理があると強く思います。スローガンを掲げてそれにあわせて進めようとするのは必ず利用者の要求とは矛盾が生まれる。まして今回のように他施設との再編とからめてやることは、やり方自体に無理がある。一定の専門性をもった職員がいなくなることも問題だと思います。 区立施設利用者の会の提案の線で見直してほしい。</p>	<p>4-①-1 4-①-4</p>

5. 保育園の移転について

①説明会での質疑応答

No.	意見	回答
1	<p>高齢者優遇、子ども蔑視と感じた。子どもには選挙権がない。今の状況に憤りを感じている保護者もいるが、保護者は忙しい上に、子どもを連れてくるのは大変で説明会のような場には来れない。保護者が文句を言えないからないがしろにされているように感じる。</p>	<p>今回、パピーナ荻窪天沼保育園の移転時期を遅らせることを含めた天沼・本天沼地域の施設再編整備の取組のスケジュールを変更したことについて、区としても大変難しい判断でしたが、ゆうゆう館の利用者にとっては、利用停止期間が生じ、代替の活動場所としたコミュニティふらっと東原も少し遠い距離になってしまうことから、活動を継続することが難しい状況でした。一方で、保育園の保護者にとっては、移転時期が延期となるものの、保育の継続性は確保されることなどから、影響を受ける保護者の方への説明会を開催させていただき、今般の計画見直しを行ったものです。</p> <p>このように、それぞれの影響を考慮し、この地域全体にとってどのような対応が最も適しているかという観点から判断したもので、決して区として子育て世代の方より高齢者の方を優先したものではありませんが、ご意見でいただいたような思いをさせてしまった点につきましてはお詫び申し上げます。</p>
2	<p>パピーナ荻窪天沼保育園の移転により、保育園の定員は何名増えるのか。</p>	<p>移転する天沼保育園及びパピーナ荻窪天沼保育園について、それぞれ移転前・移転後で定員の変更はないため、地域（荻窪・本天沼・天沼・南荻窪）全体で見れば保育定員にも変更はありません。</p>
3	<p>何故旧若杉小の校庭にパピーナ荻窪天沼保育園を建てられないのか。</p>	<p>平成31年4月に開設したパピーナ荻窪天沼保育園は、保育待機児童緊急対策に基づき、早急に保育所を確保する必要があったことから旧若杉小学校のスペースを活用して整備したものです。旧若杉小学校の校舎については、S42年に建てられ、築50年を過ぎていることから、当初より移転先を確保していく考えでした。</p> <p>旧若杉小学校の校庭に施設を整備することはできますが、接道の関係で道路のそばに建てることとなります。過去の懇談会において、旧若杉小学校では防災上の観点からオープンスペースを設ける必要があるとの見解があり、校庭の一部に建物を建てることで支障が生じると考えています。</p> <p>天沼保育園移転後の跡地への移転ができない場合には、旧若杉小学校の校庭以外では天沼地域で移転先の適地を確保する見通しが立たないことから、今回の移転を見送った場合、校舎の耐用年数終了とともに廃園せざるを得ず、将来的に在園児が行き先を失う、地域の保育定員数が減り保育需要にこたえられなくなる等の恐れがあります。</p>

②説明会で配布した、ご意見用紙に寄せられた意見等

No.	意見	関連する回答No.
1	該当の意見用紙なし	—

6. 今日の説明会、その他について

①説明会での質疑応答

No.	意見	回答
1	説明会の説明者のうち、3分の1は女性にしてほしい。	今回の説明者の多くは男性でしたが、区では、杉並区職員ワーク・ライフ・バランス推進プランに基づき、令和7年度までに管理職の占める女性職員の割合を30%にする目標を掲げ、女性管理職を増やすよう取り組んでいきます。
2	荻窪駅の駐輪場が足りていない問題については、対策を検討してほしい。	荻窪駅の駐輪場につきましては、区内でも特に利用率が高い状況である事は従前より認識しております。しかしながら、区営の駐輪場増設のための用地確保が困難な状況であり、民営の駐輪場を新たに設置、管理する事業者に対する助成や支援の強化にも取り組んでいます。今後も引き続き、用地確保に向けた土地の動向に注視するとともに、民営の駐輪場の育成補助を推進し、荻窪駅の駐輪場対策に取り組んでいきます。
3	本天沼区民集会所の廃止に伴い、現在の委託事業者が雇用している職員が仕事を失うことは問題である。	本天沼区民集会所の廃止予定時期の延長に伴い、雇用の継続を希望する職員については令和5年9月末まで引き続き勤務いただくこととなりました。

②説明会で配布した、ご意見用紙に寄せられた意見等

No.	意見	関連する回答No.
1	<p>①我々の税金なので費用を詳細に公開してほしい。 ・スケジュールを見直したことによる費用（1-①-3） ・防音化・プライバシー配慮の費用（1-①-4/5）←セッション使えないんですか？</p> <p>②ゆうゆう館を使用している高齢者は、区民高齢者の何割なのでしょう。 延べ人数ではなく、実数が知りたい。公平な税の使い方なのでしょう。</p> <p>③区の未来をになう子供の数を増やす政策なんなのでしょう。 天沼小もすぐに増築、保育園の定員もぎりぎりのように思います。 （4-①-8、2-①-7）</p> <p>④子供、高齢者、障がい者と隔離された現状で「コミュニティふらっと」の目的が達成できるとは思えません。 子供が遊んでいる側で高齢者がイゴをする等、そのような場所を作るべきです。どこにもそんな場はありません。杉並区がNo.1に行ってはいかがでしょう。</p> <p>⑤元気な高齢者は子供達の未来のために協力しましょう。</p> <p>⑥区のグランドデザインが全くなっていないことがわかりました。残念です。</p> <p>⑦企業の社員の雇用まで杉並区民がめんどろ見る必要はありません。一般的なことです。</p>	<p>1-①-2 4-①-1</p>
2	<p>説明会を開いてくださってありがとうございました。今後のことですが、赤ちゃん子ども達も一緒に参加することはとても大変なことだと思うので、保育室をつくって安心して保護者が参加できるようにお願いします。保護者の方々にどのような工夫が必要か対話してほしいです。</p> <p>コミふらは多世代の交流ということでしたら、赤ちゃんから高齢者が対立しないように、共通の土台で話せるように工夫してほしいと思います。杉並区が安心して暮らせる、住んでみたい区になるように、住民と区職員が知恵を出し合っていけるとありがたいです。</p> <p>コミふらは、子どもが使えるところがラウンジのみです。このことはどうしていったらいいのかとてもなやみます。</p> <p>住民自治を大切に思うのは職員も住民も同じだということがわかってとてもうれしく思いました。</p>	<p>1-①-2 4-①-3</p>
3	<ul style="list-style-type: none"> ・本天沼集会所の増改築決定としているのに、和室の畳が新しく交換されているのは税金のムダ使い。予算合わせのためのものか。 ・高齢者重視。区民への公平性が見えない。 ・ウェルファームの集会室利用目的が会議のみで、健康体操などで使用できない。 <p>新しい施設が同じようだと、利用枠が狭すぎる。利用幅を検討してほしい。</p> <p>改築するなら防音など整備し、使用できるようにしてほしい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・健康体操として利用。 <p>利用者のほとんどは80才以上。団体代表は40代だが、利用者は高齢であれば高齢者枠に入れてほしい。</p> <p>高齢者団体優先枠と併設することは不公平になる。</p>	<p>1-①-3 5-①-1</p>

4	桜を切らないで下さい。 ぜひ残してください。	1-①-13
5	桜の木は両方残してください。いつも楽しみにしています。 なくなる和室のたたみをなぜ3月に新しくなったのでしょうか。それなら和室残してください。	1-①-13
6	現状維持したい高齢者のご意見もわかりますし、保育園利用の方のご意見ももっともかと。 オンライン配信もご検討いただきたいです。 これだけ多世代が影響を受ける再編なのでそれぞれの利用に向けた説明はまだまだ足りないかと思えます。 保育園は充実してきましたが、小中学生のいばしょが足りていません。コミュニティふらっとや若杉でも増やしていただきたいです。 旧若杉小の活用ももっと取り入れた検討をお願いします。	3-①-3 4-①-3 5-①-1
7	子どもにも、子育て世代にも高齢者にも優しい杉並にして欲しい。今回はゆうゆう館や区民集会所についての説明が中心だったが、児童館つづしについても区の将来をよく考えて決めたことなのかという疑問が再燃している。小規模な物も含めて保育施設を作り待機児童解消したが、その先に働く保護者のための児童館がなくなるのはどう考えてもおかしい。 高齢者についても、健康寿命を伸ばすためにも気軽に通える場所にゆうゆう館を残すべき。 公立保育施設を減らし、児童館をつづし、ゆうゆう館も廃止する。誰が幸せになるのか？大手のゼネコンが喜ぶだけではないか？	4-①-1
8	住民の意見を聴くことは重要ですが、このような形で意見を求めても、まとまるはずはない。従って、箱物を作ることは最小限にとどめ、あとは運用で対応すべき。例えば、マージャンをやりたいなら、マージャン荘に対するクーポンを発行するか、合唱のスペースが必要なら、それなりの施設への補助を出すとかすれば良い。 今回の説明でも、コストに関する説明がない。どうすればどのくらいのお金がかかるのかを客観的に説明すべきで、区としても費用対効果をきちんと明確にすべき。 杉並区として、子供に優しい区にするのか、年寄りにも優しい区にするのか、その軸足を明確にすべき。両方を満たすことは無理なのでどちらに軸足を置くのかを基本方針にすべき。	4-①-3 5-①-1
9	本天沼の整備に関する説明会の対象者には、異なる階層が一同に集まって説明されても無理がある。 ・子育て世帯、若年層 ・社会人として余力、教養を広める人 ・残りの人生を健康で過ごそうとしてる人 ・ゆうゆう館利用者 ・本天沼区民集会所利用者 ・天沼区民集会所利用者 合同の説明会では意見の集約は無理。 それぞれの立場の意見が異なり、説明会にならない。 区、行政の視点で、整備方法の説明会である。	4-①-3 5-①-1

10	<p>◎立場立場で意見を述べ ○行政は行政でコミュニケーションをむすんで考え、発表してほしい。 ○保育園、高齢者、障害者、その他グループ、事業者</p>	<p>4-①-3 5-①-1</p>
11	<p>質疑応答の質問者からの意見を聞いて、若い人（保育園利用者）、高齢者それぞれの立場を満足させる区からの返答も大変でしょう、と思いました。 多くの人の意見を聞くことの大切さを感じました。</p>	<p>4-①-3 5-①-1</p>
12	<p>荻窪地域区民センター協議会も改修に入ります。工事期間の間本天沼を使用したいと思います。子どもの成長は未来の杉並区の成長です。保育・教育施策は重要だ と思います。</p>	<p>—</p>
13	<p>本日は祝日なのにこのような会を設けていただき、ありがとうございます。 今日が高齢者や子どもたちのために様々な要望がありました。 いわゆる弱者(?)の要望ですね。 先行がなかなか見えず、ご苦労も多いかなと思いますが オリンピック委員会も委託業に頼んで中抜きなどという汚職犯罪が蔓延、はびこっているのは周知の事実。誰も責任とらずほおかむり!! 委託業者制(会計監査などしっかりして下さい)いいかげんやめませんか。 公務員さん、よい学歴でおつむもいいんでしょ!! 正義感をもって区民のために仕事をなさっていただけるとありがたいです。 公務員って基本公民の僕です。公僕の時代、遠くなりましたね。</p>	<p>—</p>

※「関連する回答No.」に該当がないご意見につきましては、参考意見とさせていただきます。

7. 岸本区長から（説明会を終えて）

- 今日具体的なアイデアを多くいただいた。提案いただいたとおり、コミュニティふらっと本天沼の懇談会は、公開で、傍聴可能にしたい。また、本天沼区民集会所の職員も中に入れてもらえるようにしたい。
- 施設再編計画により生じる雇用の問題は、区の責任だと思う。事業者任せに任せてはいけないと強く思う。できる限りの方策を考えていきたい。
- 皆さんから意見をもらった中で、住民自治は大変なことだと思った。時間がかかることに加え、色々な立場の人のことをみんなで理解しなければいけない。今日、保育園保護者の方の話聞くことができなかつたら、こんなにも子どもたちのことを理解することができなかつたと思う。
- 杉並区の住民自治を、対話と参加によって進化させることが目標だが、今はこの過渡期にある。すぐに状況が変わらないことで、不満に思う方も多いと思うが、将来の為にもこの大変な移行期を、職員、区民、自分も含め、みんなで引き受けて頑張っていきたい。
- 区民の方には議会を見てほしい。今回の計画含め、議会では多くのことが決められているが、そこで議論する議員を選んでいるのは杉並区民である。議会は区民の延長線上にある。
- 「公共の再生」「環境先進都市」「市民自治」というのが自分のビジョンであるが、すぐに実現することはできない。その痛みも区民の皆さんにも一緒に引き受けてもらい、一緒に考えていきたい。